

生活と病気

「健康食品」にひかれるのはなぜか

協同組合 医療と福祉 藤竿 伊知郎 (薬剤師)



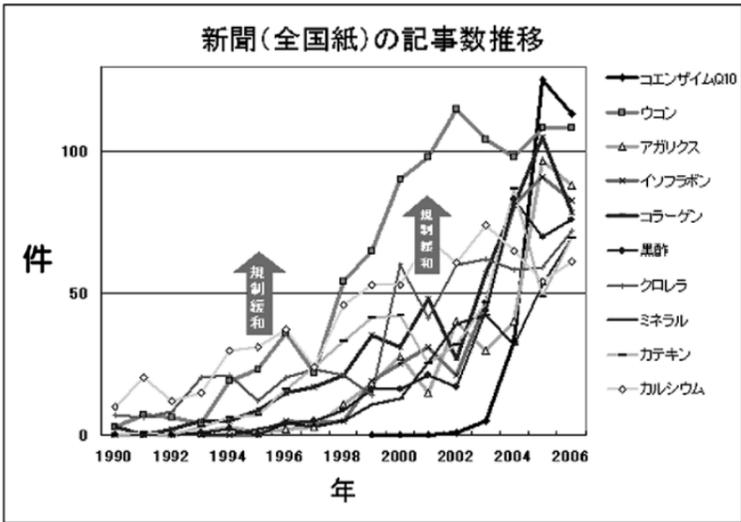
健康食品の利用は年々増えています。新聞記事で取り上げられる数も1990年の10倍です。テレビ番組での情報提供や、企業による広告の氾濫がブームを作り出しています。

1995年と2000年の2回にわたる規制緩和により、薬と見分けのつかない健康食品が市場にあふれています。

特定保健用食品(トクホ)は、厚生労働省が効用を認めたもので、大手メーカーが「体脂肪がつかない」などと派手に宣伝し、大衆薬の売上金額を上回るようになりまし

だまされないための評価は 有効性を経済負担と天秤にかけて

「あるある大事典」が、有効性を示す実験データと学者のコメントをねつ造していることが話題になりました。健康食品をめぐる宣伝の中でも、同様な問題があります。



人には肝臓を刺激して機能を向上させる有益なものです。慢性肝炎などで、肝機能の能力が低下している場合に

「心地道い内容であれば、偽の情報でも信じやすい」というものがあります。また「心理

認知症 R65

抱えている高齢期は、最近「うつ」という病気を、広く診断されています。だから、高齢期の「うつ」には認知症の初期像が混ざっている。経験的に「このままボケるのでは」と

認知症の初期像が混ざる「うつ」



「うつ」の状態は、気もどより、自らの能力の衰えを日々自覚せざるをえなくなり、「死を受け入れる」作業という大きな仕事を



イエローリボンとは、障害のある人びとの、その人らしい自立と社会参加をめざします。自立支援法見直しの運動にご協力ください。(パッチ1個300円)

くすりの話 あれこれ25

尿失禁や頻尿など、怪や手指の振るえがあらは、直接命に関わる病気でありませんが、日常生活には大きな影響を及ぼします。今回は尿失禁についてのお話です。



尿失禁

原田聡美 (たくみ外苑薬局・薬剤師)



治療には、行動療法と薬物療法があります。行動療法には、排尿する定時排尿、排尿間隔を少しずつ延ばしていく膀胱訓練、水分制限などがあります。薬物療法では、膀胱収縮を抑えるバップベリンやポラキスが使われます。副作用に、口内乾燥、便秘、めまいなどがあり、ポラキでは眠気がおこりや

二つが混合して起こる場合を「混合型尿失禁」といいます。他にも、風邪薬の服用で尿が出にくくなって起こる場合や、日常生活動作能力の低下によって起こる場合があります。